

Plug & Play 対応 PCIバス用 LAN アダプター
CentreCOM[®]

LA-PCI

ユーザーマニュアル

CentreCOM®
LA-PCI

ユーザーマニュアル

©1995-98 アライドテレシス株式会社

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りください。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。



稲妻危険

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接続部分、部品などに素手で触れないでください。



取付け・取外し時の注意

コンピュータの拡張スロットに本製品を取り付ける作業は、必ずコンピュータの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。また、これらの作業はコンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。



設置・ケーブル配線・移動は電源を抜いて

本製品の設置、ケーブル配線、移動などを行う場合は、必ずコンピュータの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。



取り扱いは丁寧に

落としたり、ぶつかけたり、強いショックを与えたりしないでください。



次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュタンを敷いた場所（静電気障害の原因にもなります）
- ・腐食性ガスの発生する場所
- ・スピーカ付近などの強磁界



動作温度と湿度

本製品は温度0～40、湿度95%以下（ただし、結露なきこと）の範囲内でご使用ください。

この度は、「CentreCOM LA-PCI」アダプターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルは、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですがお買い求めの販売代理店までご連絡ください。

- ・ LA-PCI-T、LA-PCI-2T または LA-PCI-5T（永久保証対象）
- ・ ドライバーディスク（2枚）
- ・ ユーザーマニュアル
- ・ 永久保証書
- ・ お客様インフォメーション登録カード
- ・ シリアル番号ラベル

ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、ドライバーのインストール対象となるコンピュータ機種として「AT 互換機または PC98-NX」、ドライブ名として下記を仮定して説明しています。ご使用のコンピュータでドライブ名が異なる場合は、ご使用のコンピュータにおけるものと読み替えてください。

- ・ 「フロッピードライブ」として「A:」
- ・ 「起動ドライブ（ハードディスク）」として「C:」
- ・ 「CD-ROM ドライブ」として「D:」

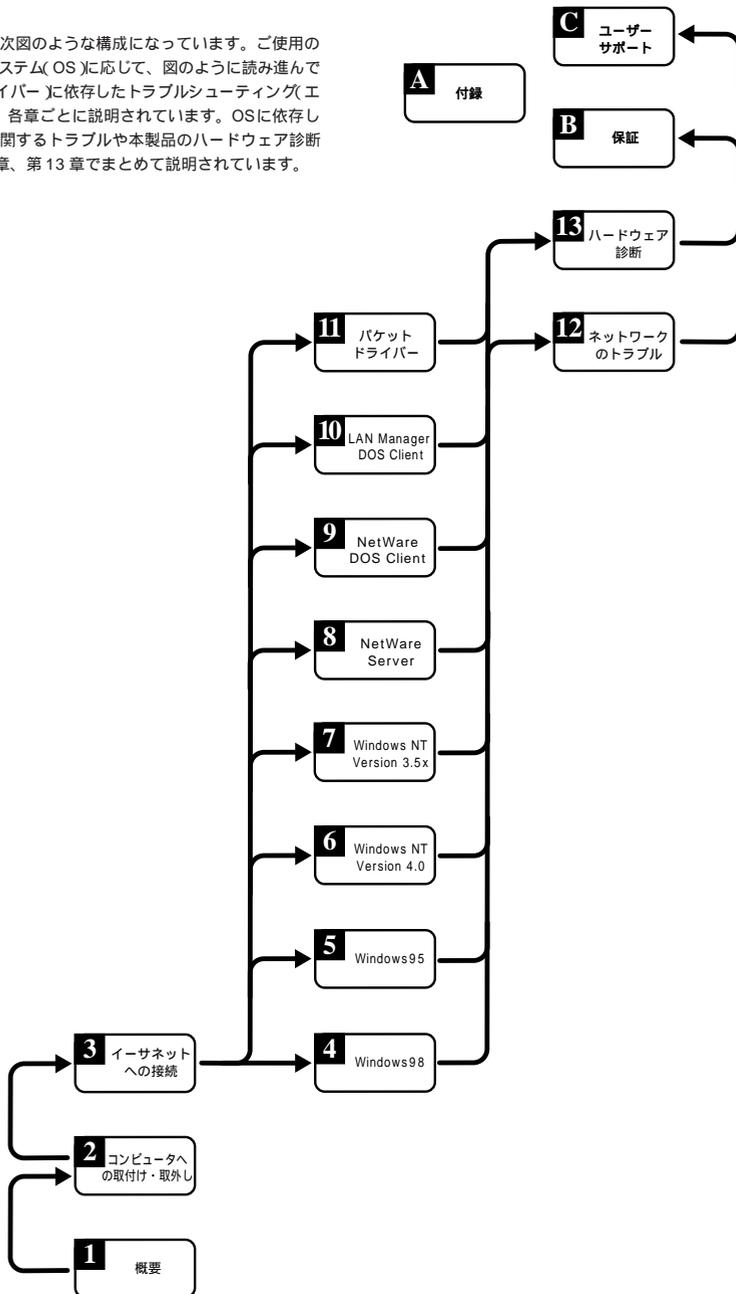
「PC-9800またはPC-9821」における一般的なドライブ名を下記に挙げます（必ずしも下記の通りではありません。コンピュータのマニュアル、実際にご使用のコンピュータでご確認ください）。

- ・ 「フロッピードライブ」として「B:」
- ・ 「起動ドライブ（ハードディスク）」として「A:」
- ・ 「CD-ROM ドライブ」として「Q:」

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

このマニュアルの構成

このマニュアルは、次図のような構成になっています。ご使用のオペレーティングシステム(OS)に応じて、図のように読み進んでください。OS(ドライバー)に依存したトラブルシューティング(エラーメッセージ)は、各章ごとに説明されています。OSに依存しないネットワークに関するトラブルや本製品のハードウェア診断のしかたは、第12章、第13章でまとめて説明されています。



C

B

A

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0 目次

使用および取り扱い上の注意	2	7.7 再インストール	27
内容物をご確認ください	2	8 NetWare サーバー	27
ドライブ名「A:」「C:」「D:」	2	8.1 NetWare 4.1xJ サーバー	27
このマニュアルの構成	3	8.2 NetWare 3.12J サーバー	28
1 概要	5	9 NetWare DOS クライアント	29
1.1 特長	5	9.1 インストール	29
1.2 対応コンピュータ機種	5	9.2 インストール結果	30
1.3 製品バリエーション	5	9.3 PC/TCP の共存環境	30
1.4 各部の名称と働き	5	9.4 エラーメッセージ	31
1.5 ドライバーディスク	5	10 LAN Manager DOS クライアント	31
2 コンピュータへの取付け・取外し	6	10.1 インストール	31
2.1 コンピュータへの取付け	6	10.2 インストール結果	32
2.2 コンピュータからの取外し	7	10.3 PC/TCP の共存環境	32
3 イーサネットへの接続	7	10.4 エラーメッセージ	33
3.1 10BASE-T	7	11 パケットドライバー	33
3.2 10BASE λ (LA-PCI-2T)	7	11.1 CentreNET PC/TCP	33
3.3 10BASE λ (LA-PCI-5T)	8	11.2 その他の TCP 通信ソフトウェア	33
4 Windows98	8	11.3 エラーメッセージ	33
4.1 用意するもの	8	12 ネットワークのトラブル	33
4.2 ドライバーの新規インストール	8	12.1 10BASE-T	34
4.3 インストールの確認とアダプターの設定	9	12.2 10BASE2	34
4.4 ドライバーの削除	11	13 ハードウェア診断プログラム	34
4.5 ドライバーの再インストール	11	13.1 診断手順	34
4.7 本製品を認識しない	11	13.2 エラーメッセージ	35
4.8 デバイスマネージャで「x」マークが付く	12	A 付録	35
4.9 リソース値重複の回避	12	A.1 製品仕様	35
5 Windows95	12	A.2 10BASE-T インターフェース	35
5.1 用意するもの	12	A.3 AUI コネクタ	36
5.2 Windows95 のバージョン確認	12	A.4 MAC アドレス	36
5.3 ドライバーのインストール	13	B 保証	36
5.4 インストールの確認とアダプターの設定	14	C ユーザーサポート	36
5.5 ドライバーの削除	16	C.1 調査依頼書のご記入にあたって	36
5.6 ドライバーの再インストール	16	C.2 システムレポートの出力方法	37
5.7 本製品を認識しない	16	調査依頼書	38
5.8 デバイスマネージャで「x」マークが付く	17	C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法	40
5.9 リソース値重複の回避	17	ご注意	40
6 WindowsNT Version 4.0	17	商標について	40
6.1 インストール時のご注意	17	マニュアルバージョン	40
6.2 用意するもの	18		
6.3 ドライバーのインストール	18		
6.4 リソース値の確認	21		
6.5 本製品を使用しないとき	21		
6.6 ドライバーの削除	22		
6.7 再インストール	22		
7 Windows NT Version 3.5x	22		
7.1 インストール時のご注意	22		
7.2 用意するもの	23		
7.3 ドライバーのインストール	23		
7.4 リソース値の確認	26		
7.5 本製品を使用しないとき	26		
7.6 ドライバーの削除	26		

1 概要

1.1 特長

CentreCOM LA-PC(以下、本製品と表記)は以下の特長をもつ LAN アダプターです。

- PCI ローカルバス仕様 Rev.2.0 に準拠 (32bit インターフェース)
- DMA バスマスター方式
- プラグ & プレイ
- 4 個の LED で通信状態のモニターが容易

1.2 対応コンピュータ機種

本製品は、PCIバスコネクタを持つ以下のコンピュータ機種に対応しています。

- AT 互換機および NEC PC98-NX
- NEC PC-9800/PC-9821 シリーズ

1.3 製品バリエーション

CentreCOM LA-PCI シリーズ LAN アダプターは、次の 3 つの製品バリエーションがあります。

- LA-PCI-T
UTP コネクタ(10BASE-T)のみを持つ機種です。製品 Rev.によって 2 種類のタイプが存在します。どちらも同じドライバーで動作します。



製品 Rev. は、シリアル番号ラベルに記載された 2 桁のコードです。2 桁目のアルファベットがメジャーバージョンを表しており、「Rev.xG」以前のものは、LA-PCI-2T から BNC コネクタを取り除いた形状となっています。

注意

- LA-PCI-2T
UTP と BNC コネクタ(10BASE2)を持つ機種で、どちらか一方のコネクタを使用することができます。
- LA-PCI-5T
UTP と AUI コネクタ(10BASE5)を持つ機種で、どちらか一方のコネクタを使用することができます。

1.4 各部の名称と働き

図 1.4.1 - 3 をもとに各部の名称と働きを説明します。

PCI バスコネクタ

本製品とコンピュータを接続するためのコネクタです。

MAC アドレスラベル

本製品の MAC アドレスが記載されています。MAC アドレスについては、「A.4 MAC アドレス」をご覧ください。

LED

- LNK (緑): 対向装置と正常にリンクが確立されると点灯します。10BASE-T を使用する場合に意味を持つランプです。
- COL (黄): 本製品がコリジョンを検出したとき点灯します。
- TX (緑): 本製品がパケットを送信したとき点灯します。
- RX (黄): 本製品がパケットを受信したとき点灯します。

UTP コネクタ(RJ-45 モジュージャック)

UTP ケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)を接続するコネクタです。

シリアル番号ラベル

本製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入されています。同じものが、3 枚程同梱されており、製品上、外箱にも貼付されています。同梱されているシリアル番号ラベルは、「お客様インフォメーション登録カード」と「永久保証書」に貼付してください(残る 1 枚は予備です)。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。

製品ラベル

製品名と MAC アドレスが記載されています。MAC アドレスについては、「A.4 MAC アドレス」をご覧ください。

BNC コネクタ(10BASE2)

10BASE2 ケーブルを接続するためのコネクタです。10BASE2 ケーブルを接続するためには、他に「T 字バルブ」や「ターミネーター」が必要です。また、10BASE2 は、「チーパネット」または「シンイーサネット」とも呼ばれます。

AUI コネクタ(10BASE5)

トランシーバーケーブル(AUI ケーブル)を接続するスライドロック付き Dsub15p コネクタです。

1.5 ドライバーディスク

本製品には、下記の 2 種類のドライバーディスクが付属していません。ご使用のコンピュータ機種に合わせてご使用ください。

- AT 互換機 / NEC PC98-NX 用
- NEC PC-9800/PC-9821 用

必ず、ドライバーディスクに含まれる「README.*」ファイルをお読みください。「README.*」には、このマニュアルに記載されていない最新の情報が記載されています。



注意

*README.1ST(Read me first) ファイルには、ドライバーディスクの詳細なディレクトリ構造やドライバーディスク全体に関わることが記載されています。各ディレクトリの中には、それぞれのドライバーに関連する README ファイルが存在します。

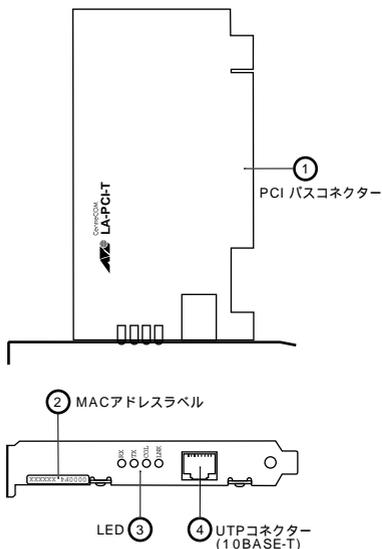


図 1.4.1 LA-PCI-T 外観図

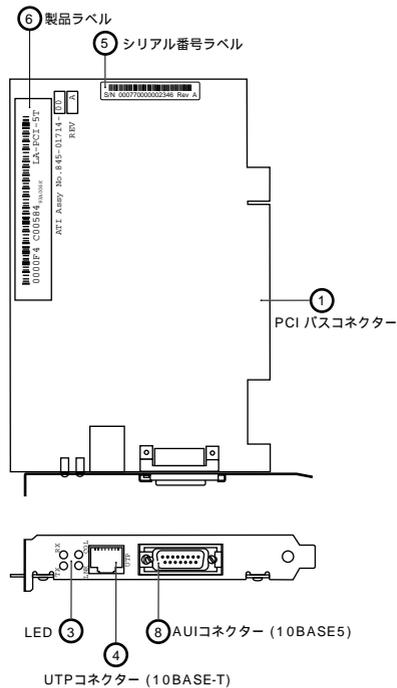


図 1.4.3 LA-PCI-5T 外観図

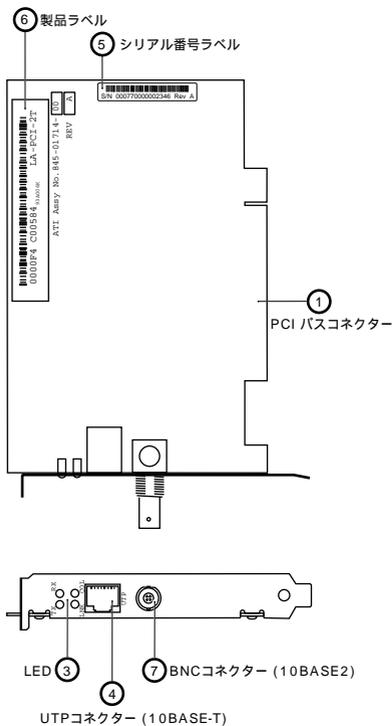


図 1.4.2 LA-PCI-2T 外観図

2 コンピュータへの取付け・取外し

以下に示す手順を参考にし、本製品のコンピュータへの取付け・取外しを行ってください。拡張アダプターの取付け・取外しはコンピュータ機種によって異なります。取付けの詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

2.1 コンピュータへの取付け

- (1) コンピュータ本体の電源をオフにしてください。
- (2) 安全のためにコンピュータの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



コンピュータの拡張スロットに本製品を実装する作業は、必ずコンピュータの電源を切ってください。電源を投入したままこの作業を行うとコンピュータや本製品の故障の原因となります。

- (3) コンピュータの天板 (本体のカバー) を固定しているねじを外し、天板を外してください。
- (4) スロットのカバーを固定しているねじを外し、スロットのカバーを外してください。

- (5) 本製品を拡張スロット(PCIコネクタ)にしっかり奥まで差し込んでください。



本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、PCIバスコネクタの接点部分、部品などに素手で触れないでください。

- (6) (4)で外したねじを使用して、本製品を固定してください。このねじは必ず取り付けてください。

2.2 コンピュータからの取外し

- (1) 本製品の取付け手順の(1)~(3)と同様に、コンピュータの天板を外します。

- (2) 本製品を固定しているねじを外します。

- (3) 本製品をゆっくり引き抜きます。引き抜くときは、左右に振らずにまっすぐ引き抜いてください。



本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、PCIバスコネクタの接点部分、部品などに素手で触れないでください。

- (4) スロットカバーを元どおりに取り付けてください。

- (5) コンピュータの天板を取り付けてください。

3 イーサネットへの接続



稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

3.1 10BASE-T

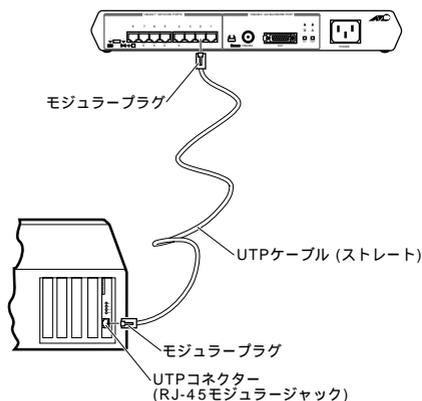


図 3.1.1

- (1) UTPケーブルの端に付いたプラグの一方を、本製品のUTPコネクタにカチッと音がするまで差し込んでください。



UTPケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)は、カテゴリ3以上のもので、ストレートタイプをご使用ください。

- (2) UTPケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。

- (3) UTPケーブルのもう一方の端のプラグをハブ(またはスイッチ)のUTPコネクタに差し込んでください。手順は、上記(1)(2)と同様です。



UTPケーブルの外し方: プラグの爪を指で押しながら手前に引くと、プラグを抜くことができます。

3.2 10BASE2(LA-PCI-2T)



BNCとUTPコネクタの両方にケーブルが接続されている場合、UTPコネクタが優先されます。BNCコネクタを使用する場合は、UTPコネクタにケーブルを接続しないでください。

- (1) T字バルブを本製品のBNCコネクタに差し込み、ギザギザの部分を持って右に回してください。T字バルブがロックされ、抜けなくなります。



LA-PCI-2Tをシイーサネットに接続するためには、「T字バルブ」と「シワイヤ同軸ケーブル」が必要です。

- (2) 手順(1)で取り付けたT字バルブの両端に、シワイヤ同軸ケーブルのBNCコネクタを接続します。

- (3) 本製品がシイーサネットの一番端のマシンとなる場合は、T字バルブの一方の端は「シイーサネット用のターミネーター(終端抵抗器)」となります。



シイーサネットケーブル、T字バルブ、ターミネーターを外す場合は、BNCコネクタを押しながら左に回してロックを外しコネクタを手前に引っ張ってください。

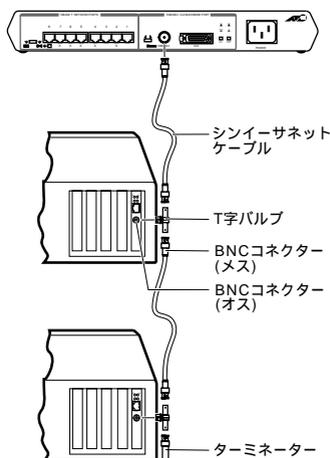


図 3.2.1

3.3 10BASE5(LA-PCI-5T)



注意

AUI と UTP コネクターの両方にケーブルが接続されている場合、UTP コネクターが優先されます。AUI コネクターを使用する場合は、UTP コネクターにケーブルを接続しないでください。

- (1) トランシーバーケーブル(AUI ケーブル)のスライドロックの無い方のコネクターを本製品のAUIコネクターに差し込みます。
- (2) 本製品のAUI コネクターのスライドロックをスライドさせ、ケーブルをロックします。
- (3) トランシーバーケーブルのスライドロックが付いている方のコネクターをトランシーバーのAUI コネクターに差し込み、スライドロックをスライドさせ、ケーブルをロックします。

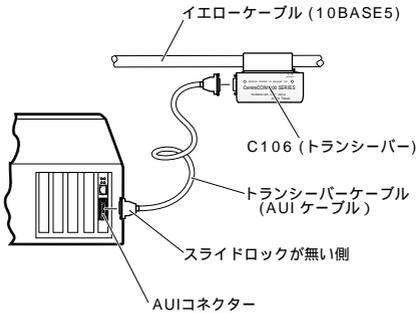


図 3.3.1

4 Windows 98



注意

ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。また、本書では、AT 互換機 / PC98-NXへのインストールを例にして説明します。PC-9800/PC-9821 の場合、ディスクドライブ名などが異なります。

本製品のドライバーを初めてWindows 98にインストールする場合、例えば、次にあげるような場合には、「4.2 ドライバーの新規インストール」を実行し、その後「4.3 インストールの確認とアダプターの設定」に進んでください。

- Windows 98を新規インストールし、これから本製品のドライバーのインストールを始める。
- プリインストール版 Windows 98 へのインストール。
- Windows 95 から Windows 98 にアップグレードしたが、Windows 95 では本製品のドライバーをインストールしておらず、Windows 98 で初めて本製品を使い始める。

Windows 95 から Windows 98 にアップグレードしたとき、既に Windows 95 で本製品を使用していた場合には、Windows 98 へのアップグレードによって、Windows 98 の CD-ROM から自動的に本製品のドライバーがインストールされます。

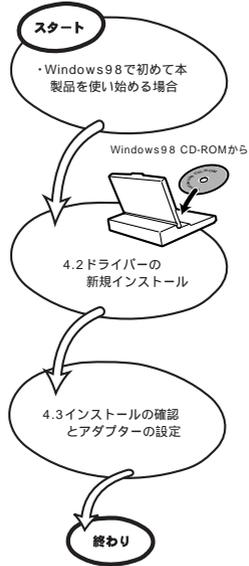


図 4.1

4.1 用意するもの

- LA-PCI・LAN アダプター、UTP ケーブルなど
- コンピュータ(Windows 98 インストール済み)
- Windows 98 の CD-ROM(本製品のドライバーは、この CD-ROM に入っています)



警告

Windows 98 がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわち**プリインストール版**である場合、Windows 98 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディスクに Windows 98 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

4.2 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーを Windows 98 に新規インストールする手順を説明します(ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します)。

本製品のドライバーは、Windows 98 の CD-ROM からインストールされますので、本製品のドライバーディスクに Windows 98 用のドライバーは収録されておりません。Windows 98 の CD-ROM から自動的にインストールされるドライバーは、次のとおりです。本製品は、このドライバーで正しく動作しますので問題はありません。

- AT 互換機 / PC98-NX の場合
「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」

- PC-9800/PC-9821 の場合
「NEC SV-98/2-B05/B6(PCI)」

- (1) 本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けた状態で、コンピュータの電源をオンし、Windows98を起動してください。
- (2) Windows98のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに入れてください。
- (3) Windows98は本製品を自動的に検出し、本製品に必要なソフトウェアをインストールします。



図 4.2.1



PC-9800/PC-9821 の場合、デバイス名は、「NEC SV-98/2-B05/B6(PCI)」と表示されます。

コピーの途中で下記のダイアログが現れる場合、CD-ROMがCD-ROMドライブに正しく入っていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 4.2.2



「ファイルのコピー」ダイアログで、本製品のドライバー以外のファイルが見つからないと表示された場合、AT互換機/PC98-NXはバスとして「D:\win98」を、PC-9800/PC-9821はバスとして「Q:\win98」を入力してください。ここでは、CD-ROMドライブ名をそれぞれ「D:」および「Q:」と仮定します。

- (4) ファイルのコピーが開始されます。

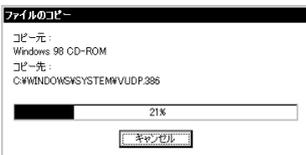


図 4.2.3

- (5) 次のダイアログが表示されます。CD-ROMドライブからWindows98のCD-ROMを取り出し、「はい」ボタンをクリックして、コンピュータを再起動してください。

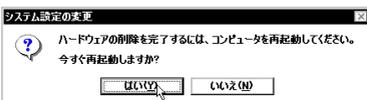


図 4.2.4



インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN環境でTCP/IPを使用している場合は、DHCPの設定に関してシステム管理者にご相談ください。

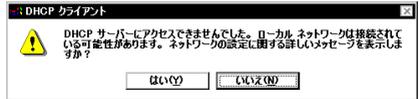


図 4.2.5

- (6) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「4.3 インストールの確認とアダプターの設定」に進みます。

4.3 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

1. デバイスマネージャによるインストールの確認

- (1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。



図 4.3.1

- (2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば「ネットワークアダプタ」の下に、「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」が表示されます。



図 4.3.2



PC-9800/PC-9821 の場合は、デバイス名は、「NEC SV-98/2-B05/B6(PCI)」と表示されます。

注意

本製品のアイコンに「x」「?」「!」などのマークがついたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストーラに失敗しています。詳しくは、「4.7～4.9」のトラブルシューティングの節をご覧ください。

- (3) 「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」を選択（反転表示）し、「プロパティ」「全般」と進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



図 4.3.3 デバイスの状態

- (4) 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト (IRQ) などは、Windows98 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

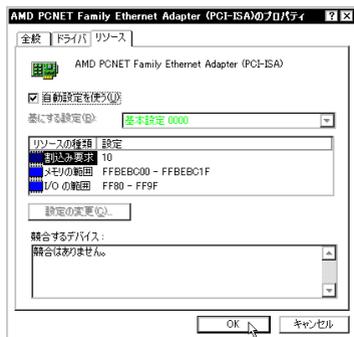


図 4.3.4 リソースの確認

2. ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います（設定についての詳細は、システム管理者にご相談ください）。必要な項目の設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。ダイアログによって再起動を促されます。再起動後、施

した設定が有効になります。



図 4.3.5 ネットワークの設定

3. LED の設定

本製品のLEDを正しく表示させるための設定を施してください（この設定が施されていないと本製品の動作に支障はありません）。

「コントロールパネル」「ネットワーク」「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」「プロパティ」「詳細設定」と進み、LED0～LED3の値を設定します。



図 4.3.6 ドライバーの設定

LED0 から LED3 の値は、次のように設定してください。

表 4.3.1

LED	設定値	LED名称
LED0	Default (c0)	LNK
LED1	4	RX
LED2	81	COL
LED3	10	TX



PC-9800/PC-9821 の場合は、デバイス名は、「NEC SV-98/2-B05/B6(PCI)」と表示されます。また、「LED1」の値は、「0x4」と表示されます。

注意

4.4 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順に準じ、間違えてインストールされたドライバーをまず削除してから、再びインストール作業を行います。

- (1) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。



図 4.4.1 ドライバーの削除



PC-9800/PC-9821 の場合は、デバイス名は、「NEC SV-98/2-B05/B6(PCI)」と表示されます。

注意

- (2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



図 4.4.2 デバイス削除の確認

- (3) 次のダイアログが表示されたら、「はい」ボタンをクリックしてください。

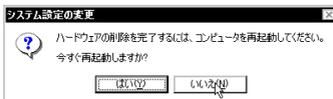


図 4.4.3

- (3) 「ネットワークアダプタ」下の本製品のアイコンが消えていることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



図 4.4.4 削除後のデバイスマネージャ

- (4) Windows98を「終了」し、コンピュータの電源をオフにして、PC 拡張スロットから本製品を取り外してください。
- (5) 次のWindows98起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

4.5 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「4.4 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。
- (2) 「4.2 ドライバーの新規インストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

4.7 本製品を認識しない

「4.3 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」アイコンの表示が以下のようにになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

- 1 正常にインストールできない
- 2 「ネットワークアダプタ」の項目がない
- 3 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下にはいつまでもまった
- 4 デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く
- 5 「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」が2つ以上ある



「2」や「3」のような障害は、ドライバーインストール中に行われる netapi.dll などの Windows98 関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまったなどの原因が考えられます。



注意

PC-9800/PC-9821 の場合は、デバイス名は、「NEC SV-98/2-B05/B6(PCI)」と表示されます。

ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「4.5 ドライバーの再インストール」に進みます。

4.8 デバイスマネージャで「x」マークが付く

デバイスマネージャの「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA) (AT 互換機/PC98-NX の場合) または、「NEC SV-98/2-B05/B6 (PCI) (PC-9800/PC-9821 の場合)」アイコンに「x」マークがある場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1) 「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA) (AT 互換機/PC98-NX の場合) または、「NEC SV-98/2-B05/B6 (PCI) (PC-9800/PC-9821 の場合) を選択 (反転表示) し、「プロパティ」をクリックし、「全般」タブを表示します(図 4.3.1 ~ 3)。
- (2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルを使用不可にする」のチェック「x」を外してください。

4.9 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「？」、「！」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値をWindows98 に予め登録(「予約」と呼びます)し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないようにしておく、値の重複を回避できます。



コンピュータ機種によっては、「BIOS」に組み込まれている PCI や ISA の設定ユーティリティを使用して、リソースの重複を回避するものがあります。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値、インタラプト (IRQ)、I/O ベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス (DMA) を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧になるか、または、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「コンピュータ」「コンピュータのプロパティ」パネル「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

5 Windows 95



ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。また、本書では、AT 互換機/PC98-NX へのインストールを例にして説明します。PC-9800/PC-9821 の場合、ディスクドライブ名などが異なります。

5.1 用意するもの

- LA-PCI・LAN アダプター、UTP ケーブルなど
- コンピュータ(Windows95 インストール済み)
- Windows95 の CD-ROM またはフロッピーディスク



Windows95 がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合、Windows95 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディスクに Windows95 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

5.2 Windows95 のバージョン確認

Windows95 には、Version950、VersionA、VersionB、VersionC の 4 種類のバージョンがあります。各バージョンによって、本製品のドライバーインストール時に表示されるメッセージが異なります。まず、ご使用の Windows95 のバージョンを確認し、「5.3 ドライバーのインストール」に進んでください。

- (1) コンピュータの電源をオンにし、Windows 95 を起動してください。
- (2) 「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックしてください(図 5.4.1 ~ 2)。
- (3) 「システムのプロパティ」ダイアログが現れます。「情報」タブをクリックしてください。

Version950

「システム:」の番号が「4.00.950」であれば Version950 です。



図 5.2.1

VersionA

「システム:」の番号が「4.00.950a」であれば VersionA です。



図 5.2.2

VersionB、VersionC

「システム:」の番号が「4.00.950 B」であれば VersionB、「4.00.950 C」であれば VersionCです。



図 5.2.3

5.3 ドライバーのインストール

本製品のドライバーをWindows 95にインストールする手順を説明します(ここでは、ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない場合について説明します)。

本製品のドライバーは、Windows95の供給メディア(CD-ROMやフロッピーディスク)からインストールされますので、本製品のドライバーディスクにはWindows95用のドライバーは収録されておりません。Windows95の供給メディアから自動的にインストールされるドライバーは、次の通りです。本製品は、このドライバーで正常に動作しますので問題はありせん。

- AT 互換機 /PC98-NX の場合
「AMD PCNET Family Ethernet Adapter(PCI&ISA)」
- PC-9800/PC-9821 の場合
「NEC SV-98/2-B05/B06(PCI)」



本書では、AT 互換機 /PC98-NX の場合を例にして説明します。PC-9800/PC-9821 をご使用の場合は、「AMD PCNET Family Ethernet Adapter(PCI&ISA)」を「NEC SV-98/2-B05/B06 (PCI)」に読み替えてください。

- (1) コンピュータの電源をオフにして、コンピュータのPCIカードスロットに本製品を取り付けてください。
- (2) コンピュータの電源をオンにしてください。
- (3) Windows95は自動的に本製品を検出し、本製品用のドライバーやWindows95のネットワークに関連するファイルのコピーを開始します。コピーの途中でWindows95の供給ディスクが要求される場合は、ご使用のWindows95の形態に応じて以下のようにパスを入力してください。

ブリインストール版 Windows95 の場合

この場合はWindows95ファイルが既にハードディスクにコピーされています。ダイアログではディスクを入れるように要求されますが、そのまま「OK」をクリックしてダイアログを閉じ、「C:¥windows¥options¥cabs」を指定してください。ここではWindows95の起動ディスクパーティションをCと仮定します。

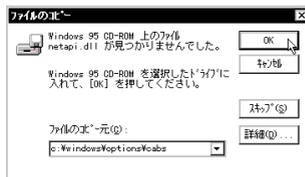


図 5.3.1 ファイルの所在の指定(ブリインストール版)

CD-ROM の場合

CD-ROMをドライブに挿入し、「D:¥WIN95」を入力してください。ここでは、CD-ROM ドライブをDと仮定します。

フロッピーディスクの場合

指示された番号のディスクをフロッピーディスクドライブに入れて、「ファイルのコピー元(C):」で「A:¥」を入力してください。(ここではフロッピーディスクドライブをAと仮定します。)



図 5.3.2 フロッピーディスクの要求画面

- (4) 次のダイアログが表示された場合は、ご使用のコンピュータではじめてネットワークアダプターをインストールする場合、内容を讀んだ上で「OK」をクリックしてください。



図 5.3.3

続いて次のダイアログが表示されます。システム管理者に確認の上、コンピュータ名、ワークグループ名およびコンピュータの説取(省略可)を入力してください。



図 5.3.4



コンピュータ名およびワークグループ名の入力には 15 字以下の半角文字を使用します。詳細は Windows95 のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。また、このダイアログの内容をインストール後に変更する場合は、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、「ユーザー情報」タブを選択してください。

- (5) 「システム設定の変更」が表示されます。「今すぐ再起動しますか?」という問いに対して、「はい(Y)」をクリックし、フロッピーディスクを取り出して、コンピュータを再起動します。

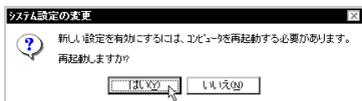


図 5.3.5 システム設定の変更

- (6) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「5.4 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。



注意

インストール後の再起動時に、以下のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN 環境で TCP/IP をご使用になっている場合は、DHCP の設定に関してシステム管理者にご相談ください。



図 5.3.6

5.4 インストールの確認とアダプターの設定

再起動したら、はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

1. デバイスマネージャによるインストールの確認

- (1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストーラーが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」の下に「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」が表示されます。



図 5.4.1



図 5.4.2



PC-9800/PC-9821 の場合は、「NEC SV-98/2-B05/B6(PCI)」と表示されます。

注意

「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」のアイコンに「×」「?」「!」などのマークがついていたり、そのアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「5.7 ~ 5.9」のドライバーに関するトラブルシューティングの節をご覧ください。

- (2) 「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA) を選択 (反転表示) し、「プロパティ」「情報」と進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



図 5.4.3 デバイスの状態 (Version 950/A)



図 5.4.4 デバイスの状態 (Version B/C)

- (3) Version B または C の場合、「ドライバ」タブが存在します。「ドライバ」タブを選択すると、「このデバイスにはドライバファイルが必要でないか、または組み込まれていません。」というメッセージが表示されますが、これは本製品の仕様によるものであり、ご使用には支障ありません。安心して使用ください。



図 5.4.5 「ドライバ」タブ

- (4) 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト (IRQ) などは、Windows95 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます (表示されるまで、時間がかかります)。



図 5.4.6 リソースの確認

2. ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。詳細はシステム管理者にご確認ください。



図 5.4.7 ネットワークの設定

3. LED の設定

以下の手順を実行し、本製品の LED を正しく表示させるための設定を施してください (この設定が施されていなくても、本製品の動作に支障はありません)。

- (1) 「ネットワーク」ダイアログ (図 5.4.7) の「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。次のダイアログが現れます。「詳細設定」タグをクリックし、LED0 - LED3 の値を表 5.4.1 のように設定してから、「OK」ボタンをクリックしてください。このダイアログが閉じます。



図 5.4.8

表 5.4.1

LED	設定値	LED名称
LED0	c0	LNK
LED1	0x4	RX
LED2	81	COL
LED3	10	TX



LED0 ~ LED3 以外のプロパティの値は、変更せずにご使用ください。また、本製品は全二重モード (Full Duplex) はサポートしていませんので、全二重モードの設定は行わないでください。

- (2) 「ネットワーク」ダイアログ (図 5.4.7) の「OK」ボタンをクリックしてください。ダイアログが閉じ、再起動を促すダイアログが表示されます。指示にしたがい、コンピュータを再起動してください。

5.5 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順にない、間違っってインストールされたドライバーをまず削除してから、再びインストール作業を行います。

- (1) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。



図 5.5.1 ドライバーの削除

- (2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。



図 5.5.2 デバイス削除の確認

- (3) 「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えていることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



図 5.5.3 削除後のデバイスマネージャ

- (4) 以上で削除の手続きは終了です。表示されるダイアログの指示にしたがい、コンピュータの電源をオフにしてください。

5.6 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「5.5 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。
 (2) 「5.3 ドライバーのインストール」の順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

5.7 本製品を認識しない

「5.4 インストールの確認とアダプタの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」アイコンの表示が以下になっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。

- 1 正常にインストールできない
- 2 本製品が検出されない
- 3 「ネットワークアダプタ」の項目がない
- 4 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下にはいつしなかった
- 5 デバイスマネージャで「!」?」マークが付く
- 6 「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」が2つ以上ある

上記の「3」や「4」のような障害は、以下のような操作を行ったことが考えられます。

- ドライバーインストールの作業中に行われる netapi.dll などのWindows95関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまっった。

- (1) 不正にインストールされた「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「全ての設定から削除(A)」を選択し、「OK」をクリックしてください。
- (3) 「5.5 ドライバーの削除」の手順3)に進みます。

5.8 デバイスマネージャで「x」マークが付く

デバイスマネージャの「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」アイコンに「x」マークがある場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1) 「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI&ISA)」を選択（反転表示）し、「プロパティ」をクリックし、「情報」タブを表示します(図 5.4.3 ~ 4)。
- (2) Version 950またはAの場合、「Original Configuration」にチェックを付けてください。



図 5.8.1 デバイスの使用許可の設定

- (3) Version BまたはCの場合、「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェックを外し、「すべてのハードウェア環境で使用する」にチェックを付けてください。

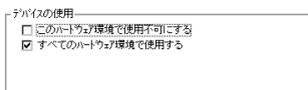


図 5.8.2

5.9 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「？」、「！」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Playに対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値をWindows95に予め登録（「予約」と呼びます）し、その値が他のPlug & Play対応デバイス（本製品を含む）によって使用されないようにしておくと、値の重複を回避できます。



注意

コンピュータ機種によっては、「BIOS」に組み込まれているPCIやISAの設定ユーティリティを使用して、リソースの重複を回避するものがあります。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (1) Plug & Play非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値（インタラプト（IRQ）、I/Oベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス（DMA））を調べおきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「コンピュータ」「コンピュータのプロパティ」パネル「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

6 Windows NT Version 4.0

本書では、Windows NT Version 4.0 Workstationを使用し、下記の条件を仮定したインストール例を示します。Serverをご使用のお客様は以下で示す手順を参考にして、インストールを行ってください。

- ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境は、全くインストールされておらずこれからインストールします。
- Windows NT Ver. 4.0 Workstationを使用し、Windows NTが要求する問い合わせに対して、基本的にデフォルトで答えます。

6.1 インストール時のご注意

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。各操作・設定の手順についてはWindows NTのマニュアル・ヘルプをご覧ください。



注意

Windows NTのハードウェア互換性リスト(Windows NTパッケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。これらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



注意

NEC PC-9800、PC-9821、PC98-NX にインストールされたWindows NTのもので本製品をご使用する場合、NECによって保証されていないインストール環境でのご使用は、お客様の責任において行ってください。これらの環境で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



注意

本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予めご了承ください。



注意

本製品のインストールをWindows NTのインストールと同時にすることは避けてください。必ず、Windows NTのインストールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。Windows NTはPlug & Playをサポートしていないため、Windows NTと本製品のインストールを同時に行うと、Windows NTのインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。

6.2 用意するもの

- LA-PCI-T LAN アダプター本体、UTP ケーブルなど
- コンピュータ(Windows NT 4.0 インストール済み)
- Windows NT の CD-ROM
- ドライバーディスク(本製品付属)

6.3 ドライバーのインストール

- (1) 「スタート」「設定」「コントロールパネル」と進み、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。



図 6.3.1 「ネットワーク」(コントロールパネル)

- (2) 下のダイアログが表示されます。「今すぐインストールしますか?」の問いに対して、「はい(Y)」をクリックしてください。

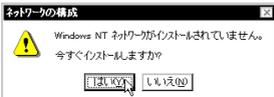


図 6.3.2



「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない(D)」を選択したとき、このダイアログが表示されます。このダイアログではなく「ネットワーク」パネルが表示された場合は、既にネットワークに関する WindowsNT ファイルがインストールされています。この場合は「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブ「追加」と進むと、手順(4)の図 6.3.4 が表示され、本製品のみインストールが始まります。

- (3) 「ネットワークセットアップウィザード」ダイアログが表示されます。「ネットワークに接続(W)」にチェックマークを付け、「次へ(N)>」をクリックしてください。



図 6.3.3

- (4) 図 6.3.4 が表示されたら、「一覧から選択(S)...」をクリックしてください。



図 6.3.4

- (5) 「ネットワークアダプタの選択」ダイアログが表示されます。

CD-ROM からのインストール

「Allied Telesis LA-PCI Adapter」を選択し、「OK」をクリックしてください。(6)に進んでください。



図 6.3.5

ドライバディスクからのインストール



注意

フロッピーディスクでの供給の場合、CD-ROMに含まれるドライバよりも新しいものが提供されていることがあります。最新のドライバは、バグフィクスや機能の改良などが施されています。最新のドライバの入手方法は、「C.3 最新ドライバソフトウェアの入手」をご覧ください。

図 6.3.5 の「ディスク使用」をクリックしてください。次のダイアログが表示されますので、ドライバディスクをフロッピードライブに挿入し、パス「A:\windows.nt」を入力し、「OK」をクリックしてください。(ここでは、フロッピーディスクドライブを A: と仮定します。)

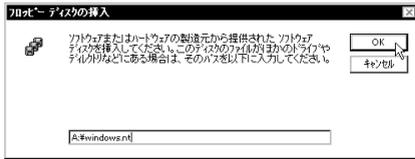


図 6.3.6

次のダイアログで、「Allied-TelesisKK LA-PCI Ethernet Adapter」を選択し、「OK」をクリックしてください。(6)に進んでください。



図 6.3.7

- (6) 「ネットワークアダプタ (A):」の「Allied-TelesisKK LA-PCI Ethernet Adapter」にチェックマークを付け、「次へ (N):」をクリックしてください。



図 6.3.8

- (7) 使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、「次へ (N):」をクリックしてください。(詳細はシステム管理者にご相談ください。)ここでは、「TCP/IP プロトコル」のみをチェックすると仮定します。



図 6.3.9

- (8) 使用するサービスを設定し、「次へ (N)>」をクリックしてください。お客様のネットワークでどのようなサービスが使用されているかは、システム管理者にご相談ください。



図 6.3.10

- (9) メッセージを確認して、「次へ (N)>」をクリックしてください。



図 6.3.11

- (10) Windows NT のインストール元のディレクトリを指定してください。AT 互換機 / NEC PC98-NX の場合は「I386」, NEC PC-9800/PC-9821 の場合は「PC98」となります。(ここでは CD-ROM のドライブ名を D: と仮定します。)

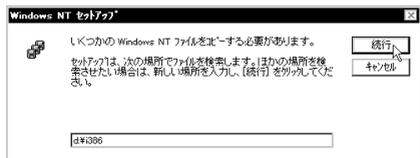


図 6.3.12

(11) 続いて本製品の設定ダイアログが表示されます。設定を変更せずに、「OK」をクリックしてください(「Media Type」として「Auto Select」、「PCI Type」として「PCI」)。

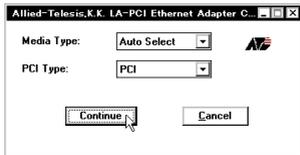


図 6.3.13

(12) ドライバーおよびWindowsファイルのコピーが始まります。手順(7)で「TCP/IP プロトコル」を選択した場合はここで「DHCPを使用するか?」を質問されます。ここでは、デフォルトである「いいえ (N)」をクリックすると仮定します。



図 6.3.14

(13) (12)で「いいえ」を選択した場合は「TCP/IPのプロパティ」としてIPアドレスなどの値を設定します。以下の説明では、下にまとめたような具体的なアドレス、名称を使用しますが、これらはお客様の環境におけるものを入力してください。

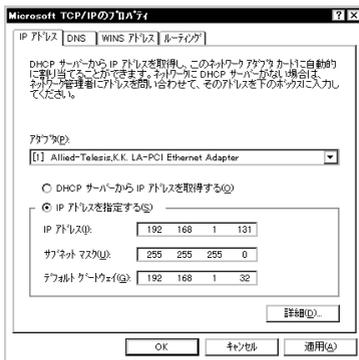


図 6.3.15

- IP アドレス 192.168.1.132
- サブネットマスク 255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ 192.168.1.32
- ホスト名(コンピュータ名) fuji2
- ドメイン abcdef.co.jp
- DNS サーバ 192.168.1.1
- ワークグループ WORKGROUP

(14) DNS (Domain Name System) の設定をします。「DNS」のタブをクリックしてください。下に入力例を示します。ここでは、ホスト名として「fuji2」を仮定しています。



図 6.3.16

(15) 続いて、「WINS (Windows Internet Name Service) アドレス」の設定を行います。下の画面では、「Windows名前解決にDNSを使う (N)」を仮定しました。

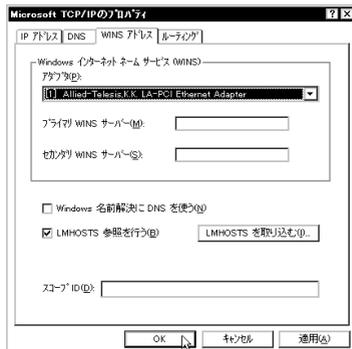


図 6.3.17

必要であれば、さらに「ルーティング」の設定を行い、最後に「OK」をクリックしてください。これらの設定の詳細についてはシステム管理者にご確認ください。

 Windows NT Server をご使用の場合は「DHCP リレー」タブがあります。DHCP リレーの詳細は Windows NT Server のマニュアルまたはオンラインヘルプをご覧ください。

(16) 「次へ (N)」をクリックしてください。



図 6.3.18

(17) 「次へ (N)」をクリックしてください。



図 6.3.19

(18) 「次へ (N)」をクリックしてください。ここでは「ワークグループ (W)」をそのまま使用すると仮定します。詳細はシステム管理者にご確認ください。



図 6.3.20

(19) 「完了」をクリックしてください。



図 6.3.21

(20) WindowsNT のサービスパックをインストールしている場合、「はい (N)」をクリックし、サービスパックをインストールした後にコンピュータを再起動してください。

サービスパックをインストールしていない場合、「はい (Y)」をクリックしてコンピュータを再起動してください。

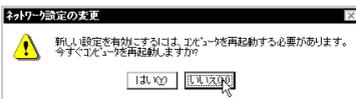


図 6.3.22



重要 本製品のドライバーをインストールすると、サービスパックによってインストールされていた WindowsNT の最新のファイルが、CD-ROM の古いバージョンのファイルによって上書きされます。サービスパックをインストールしている場合、コンピュータを再起動する前に必ずサービスパックの再インストールをしてください。サービスパックをインストールせずにコンピュータを起動すると、WindowsNT が起動できなくなる場合があります。

6.4 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、使用可能な状態となります。Windows NT 診断プログラムを起動し、「リソース」タブをクリックすると、本デバイス「LAPCI* (* は番号)」に割り当てられたリソースを確認することができます。

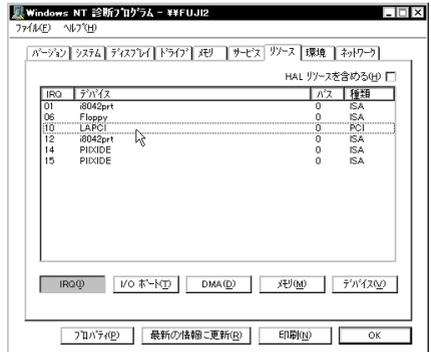


図 6.4.1 リソースの確認 (IRQ)

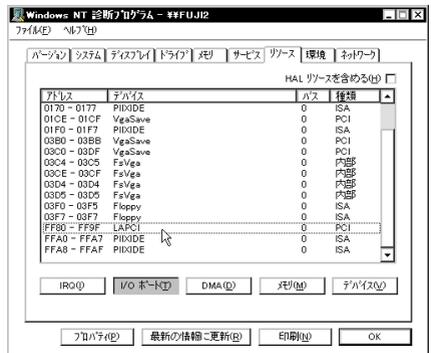


図 6.4.2 リソースの確認 (I/O ポート)

6.5 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、例えばUTPケーブルを本製品から外しているなどの場合は、ドライバーをアンロードしてください。ドライバーがロードされたままにしておくと、Windows NTはこれらの現象をネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象はドライバーをアンロードする「バイ

動しないことによって回避できます。

- (1) 「コントロールパネル」「ネットワーク」「バインド」と進みます。「バインドの表示」で「全てのアダプタ」を選択してください。
- (2) 本製品のアイコンを選択し、「無効」ボタンをクリックしてください。本製品のアイコンが無効(⊗)アイコンに変わります。使用を再開する場合は、本製品のアイコンを選択し、「有効」ボタンをクリックします。



図 6.5.1

6.6 ドライバーの削除

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削除されません(一部の設定値、例えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されます)。したがって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使用できます。

- (1) 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「ネットワーク」とたどって行き、「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブをクリックしてください。
- (2) 「ネットワークアダプタ (N):」で「Allied-TelesisKK LA-PCI Ethernet Adapter」を選択し、「削除 (R)」ボタンをクリックしてください。



図 6.6.1

- (3) 「はい」をクリックし、(フロッピーディスクが入っている場合は取り出して)コンピュータを再起動します。

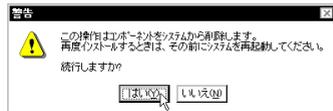


図 6.6.2

6.7 再インストール

「6.6 ドライバーの削除」を行った後、再びドライバーのインストールを行う場合は「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、「アダプタ」タブで「追加..」をクリックしてください。「6.3 ドライバーのインストール」の手順(4)から再開することになります。

7 Windows NT Version 3.5x

本製品のドライバーは、Windows NT Version 3.5および3.51に対応しています。本書では、Windows NT Version 3.51 Workstationを使用し、下記の条件を仮定したインストール例を示します。ServerやVersion 3.5をご使用のお客様は以下で示す手順を参考にして、インストールを行ってください。

- ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境は、全くインストールされおらずこれからインストールします。
- Windows NT Ver. 3.51 Workstationを使用し、Windows NTが要求する問い合わせに対して、基本的にデフォルトで答えます。

7.1 インストール時のご注意

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。各操作・設定の手順についてはWindows NTのマニュアル、ヘルプをご覧ください。



注意

Windows NTのハードウェア互換性リスト(Windows NTパッケージ)に同梱されていますに挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



注意

NEC PC-9800、PC-9821、PC98-NX にインストールされたWindows NTのもとで本製品をご使用になる場合、NECによって保証されていないインストール環境でのご使用は、お客様の責任において行ってください。それらの環境で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



注意

本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予めご了承ください。



注意

本製品のインストールをWindows NTのインストールと同時に行うことは避けてください。必ず、Windows NTのインストールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。Windows NTはPlug & Playをサポートしていないため、Windows NTと本製品のインストールを同時に行くと、Windows NTのインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。



ネットワーク環境が既にインストールされている場合はこのダイアログが表示されず、「ネットワークの設定」が起動します。この場合は手順(10)にお進みください。本製品のみインストールが始まります。

- (3) 「Windows NT セットアップ」が起動します。Windows NTのCD-ROMをドライブに挿入し、Windows NTの配布ファイルへのフルパス(AT互換機/PC98-NXでは「i386」、PC-9800/PC-9821では「pc98」となります)を入力します。(ここでは、CD-ROMドライブをD:と仮定します。)



図 7.3.3

- (4) 「検出しない」をクリックしてください。

7.2 用意するもの

- LA-PCI-T LAN アダプター本体、UTPケーブルなど
- コンピュータ(Windows NT 3.51 インストール済み)
- Windows NTのCD-ROMまたはフロッピーディスク
- ドライバーディスク(本製品付属)

7.3 ドライバーのインストール

- (1) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。



図 7.3.1 ネットワーク(コントロールパネル)

- (2) 「直ちにネットワークを組み込みますか?」の問いに対して、「はい」をクリックしてください。

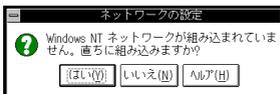


図 7.3.2

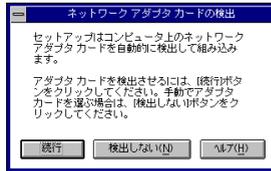


図 7.3.4 ネットワークアダプタカードの検出

- (5) 「続行」をクリックしてください。

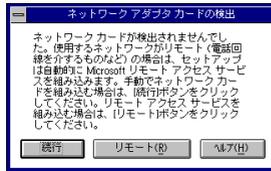


図 7.3.5 ネットワークアダプタカードの検出

- (6) 「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。「ネットワークアダプタカード(N)」リストボックスで最下行の「<なし>」後でネットワーク インターフェイスを選ぶ」を選択し、「続行」をクリックします。

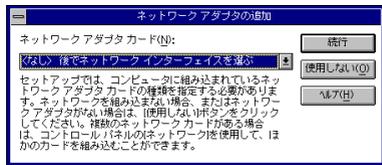


図 7.3.6

- (7) 「OK」をクリックします。



図 7.3.7

- (8) ネットワークで使用されているプロトコルをチェックして「続行」をクリックします。お客様のネットワークでどのようなプロトコルが使用されているかは、システム管理者にご相談ください。ここでは、TCP/IP だけをチェックすると仮定します。

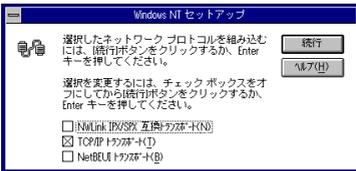


図 7.3.8 プロトコルの選択

- (9) 手順 8 で TCP/IP を選択した場合は TCP/IP オプションに関する設定画面が表示されます。お客様の環境に合わせて適宜設定し、「続行」をクリックしてください。

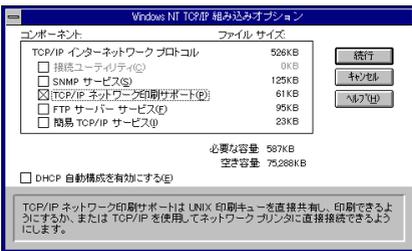


図 7.3.9 TCP/IP オプションの選択

- (10) 「ネットワークの設定」ダイアログが表示されます。「アダプタカードの追加(P)」をクリックしてください。



図 7.3.10 アダプタカードの追加

- (11) 「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。「ネットワークアダプタカード(N)」リストから最下行の「その他」各メーカーのディスクが必要」を選択し、「続行」をクリックします。

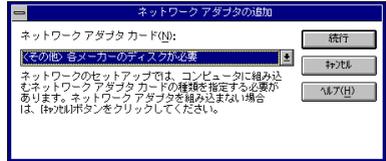


図 7.3.11 ネットワークアダプタの追加

- (12) ドライバディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「¥windows.nt」を入力してください。ここでは、フロッピーディスクドライブを A: と仮定します。



図 7.3.12 バスの入力

- (13) 「Allied-TelesisKK LA-PCI Ethernet Adapter」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックしてください。



図 7.3.13

- (14) 続いて本製品の設定ダイアログが表示されます。設定を変更せずに、「OK」をクリックしてください。「Media Type」として「Auto Select」、 「PCI Type」として「PCI」。

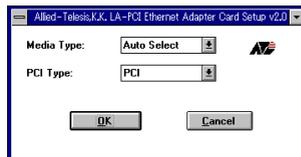


図 7.3.14

(15) 「バインド」をクリックしてください。



図 7.3.15

(16) 「OK」をクリックしてください。プロトコルスタックが本製品にバインドされます。



図 7.3.16 プロトコルの選択

(17) 続いてソフトウェアの設定を行います。ここではTCP/IPの場合について説明します。「TCP/IP プロトコル」を選択し、「構成(C)...」をクリックしてください。以下の説明では、下にまとめたような具体的なアドレス、名称を使用しますが、これらはお客様の環境におけるものを入力してください。



図 7.3.17 TCP/IPのカスタマイズ

- IP アドレス 192.168.1.132
- サブネットマスク 255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ 192.168.1.32
- ホスト名(コンピュータ名) spankfire
- ドメイン abcdef.co.jp
- DNS サーバ 192.168.1.1
- ワークグループ WORKGROUP

(18) TCP/IPの設定を行います。設定内容についてはシステム管理者にご確認ください。以下の画面は一例です。設定を終えたら「OK」をクリックしてください。

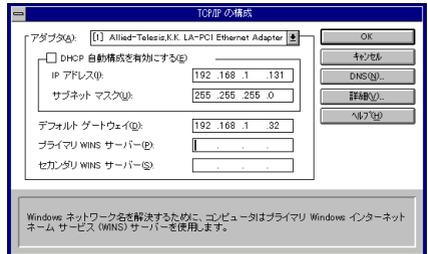


図 7.3.18 TCP/IPの構成(起動時)



図 7.3.19 DNSの構成(図 7.3.18 で「DNS」をクリック)

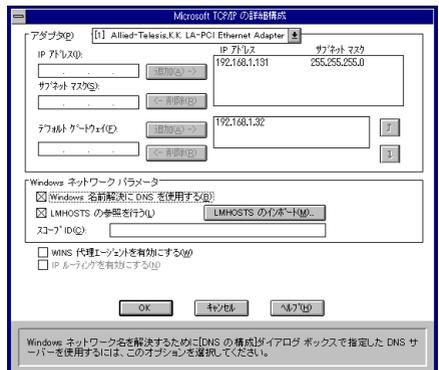


図 7.3.20 TCP/IPの詳細設定(図 7.3.18 で「詳細」をクリック)

(19) 必要に応じて他のネットワークソフトウェアを追加またはカスタマイズし、「終了」をクリックします。(詳細はシステム管理者にご確認ください。)



図 7.3.21 ネットワークセットアップの終了



図 7.4.1 割り込み / ポート

場合によってはここで「ネットワークセットアップの警告」ダイアログが表示されます。この場合は次のように設定し、手順 20へ進みます。

1. 「ネットワークセットアップの警告」で「OK」をクリック
2. 「ネットワークの誤動作」で「いいえ」をクリック
3. 「ドメイン/ワークグループの設定」で参加するドメインまたはワークグループを設定し(詳細はシステム管理者にご確認ください)、「OK」をクリック

(20) Windows NT のサービスパックをインストールしている場合、「再起動しない(D)」をクリックし、サービスパックをインストールした後にコンピュータを再起動してください。

サービスパックをインストールしていない場合、「再起動する(R)」をクリックしてコンピュータを再起動してください。

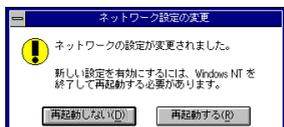


図 7.3.22

重要 本製品のドライバーをインストールすると、サービスパックによってインストールされていた Windows NT の最新のファイルが、CD-ROM の古いバージョンのファイルによって上書きされます。サービスパックをインストールしている場合、コンピュータを再起動する前に必ずサービスパックの再インストールをしてください。サービスパックをインストールせずにコンピュータを起動すると、Windows NT が起動できなくなることがあります。

7.4 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、使用可能な状態となります。Windows NT 診断プログラムを起動し、「IRQ/ポートの状態」をクリックすると、本デバイス「LAPCI」(*は番号)に割り当てられたリソースを確認することができます。

7.5 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、例えば UTP ケーブルを本製品から外しているなどの場合は、ドライバーをアンロードしてください。ドライバーがロードされたままにしておく、Windows NT はこれらの現象をネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象はドライバーをアンロードする(バインドしない)ことによって回避できます。

- (1) 「コントロールパネル」「ネットワーク」アイコン「ネットワークの設定」ダイアログ「バインド(B)...」と進みます(図 7.3.15 ~ 3.16 参照)。
- (2) 本製品に関する項目全てについて、左端の電球のマークをクリックして電球が消えている状態にしてください。



図 7.5.1

7.6 ドライバーの削除

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削除されません(一部の設定値、例えば TCP/IP における IP アドレスなどは削除されます)。したがって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使用できます。

- (1) 「プログラムマネージャ」「コントロールパネル」「ネットワーク」とたどって行き、「ネットワークの設定」ダイアログを表示します。「組み込まれているアダプタカード」リストから「Allied-Telesis,K.K. LA-PCI Ethernet Adapter」を選択し、「削除」をクリックします。

8 NetWare サーバー

第8章では、本製品のドライバーをNetWare、IntranetWareにインストールする手順を説明します。

8.1 NetWare 4.1xJ サーバー

NetWare 4.11J/4.1Jサーバーのインストール手順の概要を説明します。ここでは下記の2点を仮定します。

- [1] 既にNetWareサーバーのインストールは終了しており、本製品のドライバーをインストールすれば全て完了の状態となっています。
- [2] NetWareサーバーをインストールするコンピュータは、ハードディスク容量の一部がMS-DOSのパーティションとして割り当てられており、そのパーティションからMS-DOSの起動ができるよう準備してあります。

以下に手順を説明します。詳細に関しては、NetWareパッケージのマニュアルをご覧ください。

- [1] 「SERVER.EXE」を起動します。SERVER.EXEは、¥NWSERVERに存在すると仮定します。

```
C:\> CD NWSERVER
C:\NWSERVER> SERVER
```

SERVERが起動すると、下記のようなプロンプト(「NetWareのインストールのとき指定したサーバー名 + 「:」)が表示されます。ここでは、サーバー名として「LILITH」を仮定します。

```
LILITH:
```

- [2] 下記のコマンドを入力してください。

```
LILITH: LOAD INSTALL
```

- [3] 次のようにメニューの項目を選択していき、「ドライバーの選択」画面を表示させてください。

画面「インストールオプション」
項目「ドライバーオプション」
画面「ドライバーオプション」
項目「ネットワークドライバーの設定」
画面「追加ドライバーに対する操作」
項目「ドライバーのロード」
画面「ドライバーの選択」

 「ドライバーのロード」は4.1Jにおける表示です。4.11Jでは「追加ドライバの選択」となります。

- [4] 画面「ドライバーの選択」が現れたら、「Ins」キー(リストにないドライバーのインストール)を押し、表示されるメッセージを確認してください。



図 7.6.1

- [2] 「はい」をクリックします。

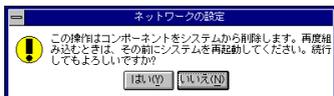


図 7.6.2

- [3] 「組み込まれているアダプタカード」から「Allied-Telesis,K.K. LA-PCI Ethernet Adapter」が消えていることを確認して「OK」をクリックします。



図 7.6.3

- [4] フロッピーディスクが入っている場合は取り出して、「再起動する」をクリックし、コンピュータを再起動します。

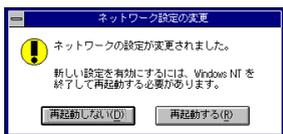


図 7.6.4

7.7 再インストール

「7.6 ドライバーの削除」を行った後、再びドライバーのインストールを行う場合は、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、「アダプタカードの追加..」をクリックしてください。「7.3 ドライバーのインストール」の手順(10)から再開することになります。

- (5) フロッピードライブにドライバーディスクを入れてF3キーを押し、「ディレクトリパスの指定」で下記のディレクトリを入力してください。ここでは、フロッピードライブをA:と仮定します。

NetWare 4.11 J(IntranetWare)の場合

```
A:\*NETWARE.386*411
```

NetWare 4.1Jの場合

```
A:\*NETWARE.386*410
```

- (6) 画面「インストールするドライバーの選択」が現れます。項目「LAPCI.LAN」を選択し、リターンキーを押してください。
- (7) 表示されるメッセージに対して「Yes」を選択し、LAPCI.LAN、LAPCI.LDIをコピーしてください。
- (8) プロトコル、パラメータを設定する画面が現れます。各項目に適切な設定を入力し、「パラメータを保存し、ドライバーをロード」を選択してください。各項目について、以下に説明します。

TCP/IP、AppleTalk

必要であれば選択し、設定を施してください。

Board:

本製品が実装されているPCIスロット (Board) の番号を入力し、リターンキーを押してください。PCIスロットの番号は「1」から始まり、コンピュータのPCIスロット番号の最も小さいものが「1」となります。PCIスロットを3基もつコンピュータの場合、1、2、3の3つの数値がとれます。このパラメータは、複数のFrameを使用したり、複数の本製品を使用する場合には、必ず設定しなければなりません。

- (9) 「バインドするネットワーク番号」の入力を求める画面に対して、お客様の環境における適切な数値を入力してください。
- (10) 「追加のネットワークドライバーを選択しますか?」に対して「No」を選択してください。以上で、本製品のドライバーインストールは終了です。
- (11) 次のようにメニューの項目を選択していき、「インストールオプション」画面に戻ってください。

画面「追加ドライバーに対する操作」
 項目「前のメニューに戻る」
 画面「ドライバーオプション」
 項目「前のメニューに戻る」
 画面「インストールオプション」

AUTOEXEC.NCFの例

前述のインストール手順によって作成されたAUTOEXEC.NCFファイルの例を示します。ただし、この例では2枚の本製品を実装しています。

```
.....
LOAD LAPCI BOARD=2 FRAME=ethernet_802.3
NAME=LAPCI_1_E83
BIND IPX LAPCI_1_E83 NET=1024D50
LOAD LAPCI BOARD=2 FRAME=ethernet_802.2
NAME=LAPCI_1_E82
BIND IPX LAPCI_1_E82 NET=9E705CB8
LOAD LAPCI BOARD=2 FRAME=ethernet_II
NAME=LAPCI_1_EII
BIND IPX LAPCI_1_EII NET=6DD0B468
LOAD LAPCI BOARD=2 FRAME=ethernet_snap
NAME=LAPCI_1_ESP
BIND IPX LAPCI_1_ESP NET=1C1F1B36

LOAD LAPCI BOARD=1 FRAME=ethernet_802.3
NAME=LAPCI_2_E83
BIND IPX LAPCI_2_E83 NET=214965CA
LOAD LAPCI BOARD=1 FRAME=ethernet_802.2
NAME=LAPCI_2_E82
BIND IPX LAPCI_2_E82 NET=21796DDA
LOAD LAPCI BOARD=1 FRAME=ethernet_II
NAME=LAPCI_2_EII
BIND IPX LAPCI_2_EII NET=CFBC5ECF
LOAD LAPCI BOARD=1 FRAME=ethernet_snap
NAME=LAPCI_2_ESP
BIND IPX LAPCI_2_ESP NET=7387F29
```

8.2 NetWare 3.12J サーバー

NetWare 3.12Jサーバーのインストール手順の概要を説明します。ここでは、下記の2点を仮定します。

- [1] 既にNetWareサーバーのインストールは終了しており、本製品のドライバーをインストールすれば全て完了の状態となっています。
- [2] NetWareサーバーをインストールするコンピュータは、ハードディスク容量の一部がMS-DOSのパーティションとして割り当てられており、そのパーティションからMS-DOSの起動ができるよう準備してあります。

以下に手順を説明します。詳細に関しては、NetWareパッケージのマニュアルをご覧ください。

- (1) NetWareサーバーの起動コマンド「SERVER.EXE」が存在するディレクトリに、本製品のドライバーをコピーします。ここでは、SERVER.EXEはC:*SERVER.312に存在し、フロッピードライブはA:と仮定します。

```
C:\>COPY A:\*NETWARE.386*312*LAPCI.LAN
C:\*SERVER.312
```

- (2) 「SERVER.EXE」を起動します。SERVER.EXEは、*SERVER.312に存在すると仮定します。

```
C:\>CD SERVER.312
C:\SERVER.312>SERVER
```

SERVERが起動すると、下記のようなプロンプト(「NetWareのインストールのとき指定したサーバー名」+「:」)が表示されます。ここでは、サーバー名として「LILITH」を仮定します。

```
LILITH:
```

- (3) ドライバーをロードします。

```
LILITH:LOAD C:\SERVER.312\LAPCI BOARD=1
FRAME=ethernet_802.2 NAME=LAPCI_1_E82
```

本製品のドライバーに固有のパラメータは、下記の通りです。

BOARD= 数値

「BOARD=」に続けて本製品が実装されているPCIスロットの番号を入力します。PCIスロットの番号は「1」から始まり、コンピュータのPCIスロット番号の最も小さいものが「1」となります。PCIスロットを3基もつコンピュータの場合、1、2、3の3つの数値がとれます。このパラメータは、複数のFrameを使用したり、複数の本製品を使用する場合には、必ず設定しなければなりません。

- (4) ドライバーに対して、IPXプロトコルのバインドを行います。「NET=」に続く数値は、お客様の環境に合った数値を入力してください。

```
LILITH:BIND IPX LAPCI_1_E82 NET=1024D50
```

- (5) 手順(3)(4)で入力したコマンドは、下記のコマンドを入力し、

```
LILITH:LOAD INSTALL
```

下記の順にメニューを選択して、AUTOEXEC.NCFファイルを保存すれば、次回のサーバー起動のとき、自動的に実行されます。

画面「インストレーションオプション」
項目「システムオプション」
画面「利用可能なシステムオプション」
項目「AUTOEXEC.NCF ファイルの作成」

複数のプロトコル、アダプターを使用する例

.....

```
LOAD C:\SERVER.312\LAPCI BOARD=2
FRAME=ethernet_802.3 NAME=LAPCI_1_E83
BIND IPX LAPCI_1_E83 NET=1024D50
LOAD C:\SERVER.312\LAPCI BOARD=2
FRAME=ethernet_802.2 NAME=LAPCI_1_E82
BIND IPX LAPCI_1_E82 NET=9E705CB8

LOAD C:\SERVER.312\LAPCI BOARD=1
FRAME=ethernet_802.3 NAME=LAPCI_2_E83
```

```
BIND IPX LAPCI_2_E83 NET=214965CA
LOAD C:\SERVER.312\LAPCI BOARD=1
FRAME=ethernet_802.2 NAME=LAPCI_2_E82
BIND IPX LAPCI_2_E82 NET=21796DDA
.....
```

9 NetWare DOS クライアント

NetWare 4.11J/4.1J/3.12JのMS-DOSクライアントのインストールにおける要点を説明します。インストール手順の詳細は、各NetWareのマニュアルをご覧ください。

NetWare 4.11Jのインストールにおいて、「クライアントフロッピーディスク」を使用すると仮定します(CD-ROMから直接インストールすることもできます)。「クライアントフロッピーディスク」は、NetWareのCD-ROMの「INSTALL」コマンドで作成することができます。

9.1 インストール

- (1) NetWare 4.11J/4.1Jの場合は、「NetWare Client for DOS and MS Windows Disk-1」をフロッピードライブに入れ、下記のコマンドを実行してください。

```
A:\>INSTALL
```



NetWare 4.1Jの場合、「INSTALL」を実行する前に「SET NWLANGUAGE=NIHONGO」を実行してください。この環境変数がセットされていない場合、メッセージが英語となります。詳細は、NetWare 4.1Jのマニュアルをご覧ください。

NetWare 3.12Jの場合は、「WSDOS_1」ディスクをフロッピードライブに入れ、下記のコマンドを実行してください。

```
A:\>WSINST
```

- (2) NetWare 4.11Jの場合、まず次の3つの質問が行われます。お客様の環境に合わせて適切なものを選んでください。
- AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYSの修正について
 - インストールするクライアントの選択
 - 時間に関する環境変数の設定
- (3) 続いて、6つの項目が表示されます。まず、1、2、3、4の質問に対して画面の指示にしたがって答えください。
- (4) NetWare 4.11Jの場合、5で「ネットワークボード」を選択します。「リストを表示するには、ここを選択して<ENTER>を押してください」を選択して、リターンキーを押してください。手順5)に進みます。

NetWare 4.1Jの場合、「5. ネットワークボードのドライバーを選択してください」を実行すると、新たな画面「ネットワークボード」が表示されます。最下行の「他のドライバー」を選択してリターンキーを押してください。手順5)に進みます。

NetWare 3.12J の場合、「ステップ 5.」を実行すると、手順 5)に進みます。

- (5) 「ドライバーディスクの挿入」を促す画面が表示されます。フロッピーディスクを本製品のドライバーディスクに入れ替え、次のディレクトリ名を入力してリターンキーを押してください。

NetWare 4.11J の場合

```
A:*\NW411
```

NetWare 4.1J の場合

```
A:*\NW410
```

NetWare 3.12JJ の場合

```
A:*\NW312
```

- (6) 「CentreCOM LA-PCI」を選択し、リターンキーを押してください。
- (7) 「CentreCOM LA-PCIの設定」という画面が表示されます。以下の項目の設定が終了したらESCキーを押し、この画面を終了してください。

Media Frame Type(S)

ご使用になるフレームタイプを選択してください。

- (8) 以後、インストールプログラムが表示するメッセージに従って操作してください。
- (9) インストールが終了し、DOSプロンプトが表示されたら、リセットスイッチを押してコンピュータを再立ち上げてください。

9.2 インストール結果

NetWare のインストーラによるインストールが終了すると、NetWare クライアントの動作に必要なファイルやドライバー「LAPCI.COM」がコピーされ、NET.CFG、STARTNET.BAT が作成されます。AUTOEXEC.BAT に「@CALL drv:\NWCLIENT\STARTNET」、PATH に「drv:\NWCLIENT」を追加されます。また、NetWare 4.11J の場合は時間に関する環境変数「SET TZ=JST-9」も追加されます(「drv」はドライブ名)。

NetWareクライアントのインストーラに対して、デフォルトの項目を選択したときのNET.CFG、STARTNET.BATを示します。

```
NET.CFG(4.11J/4.1J、AT/PC98-NX)
```

```
Link Driver LAPCI
FRAME Ethernet_802.2
```

```
NetWare DOS Requester
FIRST NETWORK DRIVE = F
NETWORK PROTOCOL = NDS BIND
SHORT MACHINE TYPE = DOSV
```

```
NET.CFG(4.11J、PC-9800/PC-9821)
```

```
Link Driver LAPCI
FRAME Ethernet_802.2

NetWare DOS Requester
FIRST NETWORK DRIVE = F
NETWORK PROTOCOL = NDS BIND
SHORT MACHINE TYPE = PC98
LONG MACHINE TYPE = NEC_PC
```

```
NET.CFG(3.12J、AT/PC98-NX)
```

```
Link Driver LAPCI
FRAME Ethernet_802.2

NetWare DOS Requester
Checksum = 0
First Network Drive = F
Short Machine Type = DOSV
Signature Level = 0
```

```
STARTNET.BAT(4.11J、AT/PC98-NX)
```

```
SET NWLANGUAGE=nihongo
C:\NWCLIENT\LSL.COM
C:\NWCLIENT\LAPCI.COM
C:\NWCLIENT\IPXODI.COM
C:\NWCLIENT\VMLM.EXE
```

9.3 PC/TCP の共存環境

NetWareと弊社 CentreNET PC/TCPの共存環境を構築する最も簡単な方法は、

- (1) まず、NetWareのクライアントのインストールを行い(この作業でODIクライアントドライバーのインストールを行います)。
- (2) 引き続き、PC/TCPのインストールを行うことです。

(1)、(2)ともそれぞれに付属しているインストーラ(インストールプログラム)によってインストールすることができ、メニューを選択するだけで、自動的に全ての設定が行われます。

何らかの理由によって、PC/TCPのインストールを行った後、NetWareのインストールを行わなければならない場合、AUTOEXEC.BAT、NET.CFGファイルの編集を行ってください(CentreNET PC/TCP User's Guide Manualの「インストール結果」の項もご覧ください)。

NET.CFGの記述

NetWareにおいてNET.CFGファイルは、本製品が使用するフレーム、プロトコルなどを設定するファイルです。次に、NetWareとPC/TCP(TCP/IP)を共存させるための記述例を示します(このファイルは、ドライバーディスクに「*\NW*\NET.CFG」として収録されています。コピーしてご使用ください)。太文字の記述行が

PC/TCPに関連する行です。NET.CFGの記述に関する詳細は、NetWareのマニュアルをご覧ください。

```
Link Support
  max stacks 8

Protocol IP
  Bind LAPCI

Protocol ARP
  Bind LAPCI

##This section is for LA-PCI driver
Link Driver LAPCI
;
  Frame ETHERNET_802.3
  Frame ETHERNET_802.2
  Frame ETHERNET_II

; Protocol IPX 0000 ETHERNET_802.3
  Protocol IPX 00e0 ETHERNET_802.2
;
  Protocol IPX 8137 ETHERNET_II
  Protocol IP 0800 ETHERNET_II
  Protocol ARP 0806 ETHERNET_II

NetWare DOS Requester
  .....
(デフォルトのNET.CFGの記述をご覧ください)
  .....
```

以下に従い、お客様の環境で使用しないフレーム、プロトコルは「シャープ」#」またはセミコロン「;」によってコメントアウトしてください。

- (1) 「Frame ETHERNET_802.3」は、NetWare 3.11J以前のものや、NetWare Liteにおいてデフォルトで使用されるフレームです。NetWare 3.12J以降とNetWare 3.11J以前のサーバが混在して存在する環境では、この記述を追加しなければなりません。
- (2) 「Frame ETHERNET_802.2」は、NetWare 3.12J、4.1xJにおいてデフォルトで使用されるフレームです。
- (3) 「Frame ETHERNET_II」は、弊社 CentreNET PC/TCPなどのTCP/IP通信ソフトウェアで使用されるフレームです。

AUTOEXEC.BATの記述

下記のように、STARTNET記述行の後に、PATH、環境変数PCTCP、ODIPKT、ETHDRVを記述してください。CONFIG.SYSの編集は不要です。

```
@CALL C:\NWCLIENT\STARTNET
.....
PATH=C:\PCTCP;C:\PATH%
SET PCTCP=C:\PCTCP\PCTCP.INI
ODIPKT
ETHDRV
.....
```

9.4 エラーメッセージ

ドライバーが常駐するときに表示される代表的なエラーメッセージを示します。

Device not found.

- (1) 本製品がコンピュータの拡張スロットに正しく装着されていません。または、取り付けられていません。
- (2) 本ドライバーが既に常駐しているか、他のDOSドライバーが既に常駐しています。
- (3) PCI規格をサポートしていないコンピュータをご使用になっていません。

The board cannot be found.

本製品が見つかりませんでした。

An invalid keyword was specified in NET.CFG on line #. NET.CFGに記述したキーワード(予約語)に誤りがあります。本マニュアルをご覧になり、正しいキーワードを記述してください。

A missing or invalid value was specified in NET.CFG on line #.

NET.CFGに記述した数値に誤りがあります。本マニュアルをご覧になり、正しい数値を記述してください。

The following configuration file entry was ignored:

記述行が無視されたことを意味します(このエラーメッセージの後に誤りの記述行が表示されます)。このメッセージは、原因を説明するメッセージとともに表示されます。

The LSL is not loaded.

LSLを常駐させずにLAPCI.COMを常駐させようとした。まず、LSLを常駐させてください。

10 LAN Manager DOS クライアント

第10章では、本製品のDOS NDISドライバーをMS-DOSにインストールする方法について説明します。

10.1 インストール

Windows NT 4.0 Serverで提供されているLAN Manager DOSクライアントにおける手順の概要を示します。

- (1) Windows NT ServerのCD-ROMから、LAN Managerのインストールフロッピーディスク(3枚)を作成します。詳細はCD-ROMの¥Client¥LanmanにあるREADMEファイルをご覧ください。
- (2) 「DOS Setup」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、以下のコマンドを実行します。

```
A: ¥> SETUP
```

- (3) インストーラが起動します。画面の指示にしたがって、インストールを進めます。途中、「LAN Managerのインストール」画面でインストール元ドライブの入力を促されます。デフォルトの「A:¥」のままでリターンキーを押し、次に進みます。
- (4) ファイルのコピーが行われます。「DOS WORKSTATION および「DOS Drivers」の2枚のディスクを要求されますので、順にディスクを挿入してファイルのコピーを進めます。
- (5) ファイルのコピーが終了すると「ネットワークアダプタドライバ」画面が表示されますので、<その他のドライバ>を選択してください。「ドライバまたはプロトコルファイルのコピー」画面が表示されたら、本製品のドライバディスクを挿入して「了解」を選択します。
- (6) 本製品の名前が表示されますので、「了解」を選択します。以後、画面の指示にしたがってプロトコル、アドレスなどの設定を行います。これらの項目についての詳細はシステム管理者にお尋ねください。
- (4) インストーラの終了後、必要であれば、CONFIG.SYS、AUTOEXEC.BAT、PROTOCOL.INIファイルを編集してください。

10.2 インストール結果

インストーラが終了すると、LAN Manager DOSクライアントの動作に必要なファイルやドライバ「LAPCI.DOS」がコピーされ、ネットワークや本製品に関する設定を記述したファイルPROTOCOL.INIが作成されます。また、AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYSにいくつかの記述が追加されます。

PROTOCOL.INI

PROTOCOL.INIは使用するプロトコルなどを記述しておく設定ファイルです。LAN マネージャの各ドライバは、この設定ファイルに従ってシステムを初期化します。LANマネージャのインストールプログラムを使用して、LAPCI.DOSをインストールしたときに生成されるPROTOCOL.INIの例を示します。

```
[PROTMAN]
DRIVERNAME = PROTMAN$
DYNAMIC = YES
PRIORITY = NETBEUI

[NETBEUI_XIF]
Drivername = netbeui$
SESSIONS = 6
NCBS = 12
LIM = 1
BINDINGS = "ATIMAC_NIF"
LANABASE = 0

[ATIMAC_NIF]
DRIVERNAME = ATIMAC$
```

[ATIMAC_NIF]

[ATIMAC_NIF]は、本製品に関する項目を記述するセクションで、ドライバ名を記述します。

ドライバ名

ネットワークデバイスドライバ名です。必ず下記を記述しなければなりません。

```
DRIVERNAME = ATIMAC$
```

CONFIG.SYS

CONFIG.SYSに次の2行が追加されます。

```
DEVICE=C:\LANMAN.DOS\DRIVERS\PROTMAN\PROTMAN.DOS
/i:C:\LANMAN.DOS
DEVICE=C:\LANMAN.DOS\DRIVERS\ETHERNET\ATIMAC\LAPCI.DOS
```

AUTOEXEC.BAT

AUTOEXEC.BATの最後に次の記述行が追加されます。

```
@REM ==== LANMAN 2.1 === DO NOT MODIFY BETWEEN
THESE LINES === LANMAN 2.1 ====
SET PATH=C:\LANMAN.DOS\NETPROG;%PATH%
NET START WORKSTATION
LOAD NETBEUI
NET LOGON sasaki *
@REM ==== LANMAN 2.1 === DO NOT MODIFY BETWEEN
THESE LINES === LANMAN 2.1 =====
```

10.3 PC/TCPの共存環境

LAN Manager と弊社 CentreNET PC/TCR(以下「PC/TCP」と略記)の共存環境を構築する最も簡単な方法は、

- (1) まず、LAN Managerのインストールを行い、
- (2) 引き続き、PC/TCPのインストールを行うことです。

(1),(2)ともインストール作業は、製品に付属しているインストーラ(インストールプログラム)によって簡単に実行できます。また、メニューが用意されており、適切な項目を選択するだけで自動的にすべての設定が行われます。

何らかの理由によって、PC/TCPのインストールを行った後、LAN Managerのインストールを行わなければならない場合、CONFIG.SYS、PROTOCOL.INI、AUTOEXEC.BATファイルの編集を行ってください(CentreNET PC/TCPマニュアルの「インストール結果」もご覧ください)。

CONFIG.SYS

下記のように、NDISドライバ記述の後にDIS_PKT.GUPの記述を追加してください。

.....

```
DEVICE=A:*LANMAN.DOS*DRIVERS*ETHERNET*ATIMAC*LAPCI.DOS  
DEVICE=A:*PCTCP*DIS_PKT.GUP
```

AUTOEXEC.BAT

AUTOEXEC.BATの最後にETHDRVを追加してください。

.....

```
LOAD NETBEUI  
REM == LANMAN 2.1 ==DO NOT MODIFY BETWEEN  
THESE LINES==LANMAN 2.1==  
ETHDRV
```

PROTOCOL.INI

PROTOCOL.INIの最後に次のセクション[PKTDRV]を追加してください。

```
[PKTDRV]  
DRIVERNAME = PKTDRV  
BINDINGS = ATIMAC_NIF  
INTVEC = 0x6E
```

10.4 エラーメッセージ

ドライバーが常駐するときに表示される代表的なエラーメッセージを示します。

Unable to allocate stack
Not enough high memory to load the driver
コンピュータ本体のメモリが不足しています。

Can not find Protocol.ini entry
PROTOCOL.INI ファイルが見つかりません。

Device not found
(1) 本製品がコンピュータの拡張スロットに正しく装着されていません。または、取り付けられていません。
(2) 本ドライバーが既に常駐しているか、他のDOSドライバーが既に常駐しています。
(3) PCI規格をサポートしていないコンピュータをご使用になっています。

11 パケットドライバー

本製品のパケットドライバー「LAPCIPD.COM」のインストールについて説明します。パケットドライバーは、主にTCP/IP通信ソフトウェア、例えば弊社製「CentreNET PC/TCP」などで使用されるドライバーです。

11.1 CentreNET PC/TCP

本製品のパケットドライバー「LAPCIPD.COM」のインストールは、CentreNET PC/TCPのインストーラ(インストールプログラ

ム)によって自動的に行われます。

- (1) コンピュータのマニュアルにしたがい、本製品をコンピュータに取り付けてください。
- (2) PC/TCPのインストーラを実行してください。インストールの途中で本製品のドライバーディスクをフロッピードライブに入れるように指示されます。
- (3) ドライバーの選択画面で、「パケットドライバー」を選択してください。

11.2 その他のTCP通信ソフトウェア

パケットドライバーを要求する他社のネットワークソフトウェアと本製品を組み合わせる場合、ソフトウェアに関するインストール手順は、ネットワークソフトウェアに添付されているマニュアルに従ってください。

しかしながら、ほとんどのネットワークソフトウェアのインストールにおいて、基本的なことは下記の点です。

- ネットワークソフトウェア自身のインストール:
ネットワークソフトウェアに付属のマニュアルに従ってインストールします。
- 本製品用パケットドライバーのインストール:
ネットワークソフトウェアに付属のマニュアルに従って、本製品用パケットドライバーを所定の箇所にコピーします。
- AUTOEXEC.BATの編集:
ネットワークソフトウェアに付属のマニュアルに従って編集します。
- CONFIG.SYSの編集:
ネットワークソフトウェアに付属のマニュアルに従って編集します。

11.3 エラーメッセージ

ドライバーが常駐するときに表示されるエラーメッセージを示します。

Error: Device not found
(1) 本製品がコンピュータの拡張スロットに正しく装着されていません。または、取り付けられていません。
(2) 本ドライバーが既に常駐しているか、他のDOSドライバーが既に常駐しています。
(3) PCI規格をサポートしていないコンピュータをご使用になっています。

Warning: Driver is already loaded.
ドライバがすでに常駐しています。

12 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

12.1 10BASE-T

LINK LED は点灯していますか?

LINK LEDは、ハブ(またはスイッチ)と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LEDは、本製品とハブの両方に存在します。本製品とハブの両方のLINK LEDが点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ハブに電源が入っているか確認してください。
- 本製品とハブをつなぐUTPケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本製品とハブとの接続には「ストレートタイプのケーブル」を使用しなければなりません。
- ハブまたはスイッチのポートの設定が正しいか確認してください。機種によっては、ハブやスイッチ同士を接続するためのポート「カスケードポート」を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続している場合、カスケードポートを「MDI-X」や「to PC」に設定しなければなりません(通常のハブのポートとして設定する)。
- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- ハブまたはスイッチの通信速度を確認してください。本製品は、10Mbps、半二重(Half duplex)のみをサポートしています。

LINK LED は点灯しているが ...

LINK LEDは点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTPケーブルの長さは正しいですか? ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは、最大100mと規定されています。
- UTPケーブルに問題はありますか? ケーブルの不良は外観から判断しにくいので、他のケーブルに交換して試験してみてください(UTPケーブルの断線はテスターなどで調べられますが、ケーブルの特性が悪い場合などは判断できません)。

- 対向装置がスイッチの場合、スイッチのポートが全二重に設定されていませんか? スwitchのポートを半二重に設定してください。全二重に設定されている場合、本製品側でコリジョンが多発します。

12.2 10BASE2

- 一続きのシイーサネットケーブル(セグメント)の両端はターミネーターで終端しなければなりません。シイーサネットケーブルの片方または両方にターミネーターが接続されていない場合、コリジョンが継続し通信ができません(COL LEDの点灯が継続します)。シイーサネットケーブルの両端にターミネーターが正しく接続されているかどうか、シイーサネットケーブルの途中の接続が外れていないか、また両端のターミネーター以外に余計なターミネーターが接続されていないかどうかを確認してください。

13 ハードウェア診断プログラム

ETHDIAG.EXEは、本製品のハードウェア診断プログラムです。ETHDIAG.EXEは、ハードウェアのテストを行い、エラーを検出すると、メッセージを表示して終了します。本製品が正常に動作するかどうかを確認するときや、本製品を使用していて異常が生じた場合に、何が原因なのかを調べるときにご使用ください。ETHDIAG.EXEは、「MS-DOS」または「Windows95のDOSプロンプトのみのモード」で実行することができます。

13.1 診断手順

- (1) 本製品をコンピュータに組み込み、ネットワークに接続してください(ネットワークに接続されていない場合、ハードウェア診断プログラムはエラーを返します)。
- (2) コンピュータの電源をオンにしてください。

- Windows95をご使用の場合は、画面に「Starting windows95...」または「Windows95を起動しています...」というメッセージが表示されたら、キーボードの「F8」キーを押してください。

メニューから「Command prompt only」または「コマンドプロンプトのみ」を選択してください。(3)に進んでください。

- WindowsNTをご使用の場合は、WindowsNTを終了し、MS-DOSで再起動してください。ご使用のコンピュータにMS-DOSがインストールされていない場合は、ほかのコンピュータでMS-DOSの起動フロッピーディスクを作成し、そのディスクを使用してコンピュータを起動してください。(3)に進んでください。



Windows95の「コントロールパネル」「アプリケーションの追加と削除」アイコン「起動ディスク」タグ「ディスクの作成」ボタンで作成した起動ディスクがご使用になれます。

- MS-DOSをご使用の場合、(3)に進んでください。ただし、バケットドライバー、DOS ODIまたはDOS NDIS ドライバー

が常駐している場合は、アンロードしてください。これらが常駐しているときに ETHDIAG を実行すると、エラーメッセージが表示されます。

- (3) 本製品のドライバーディスクをフロッピードライブに挿入し、下記のコマンドを実行します。ここでは、フロッピードライブを A: と仮定します。

```
C:>A:
A:>ETHDIAG
```

また、下記のコマンド行を入力すると、ヘルプを表示します。

```
A:>ETHDIAG -h
```

- (4) 下記に、正常な試験結果の例を示します。

```
CentreCOM LA-PCI Diagnostic Version 1.0 pl 2 [AT/IBM-PC]
Copyright (c) 1995 by Allied Telesis, K.K. All rights reserved.
```

```
Interrupt Level : 0xa
I/O Base Address : 0xffff0
I/O & Int Check : OK
Ethernet Address : 00 00 f4 af ea e5 (60133)

Loopback Check 1 : OK
Loopback Check 2 : OK
Diagnostic complete.
```

13.2 エラーメッセージ

I/O & Int Check: NG

I/O または割り込みのチェックでエラーが発生しました。

Loopback Check #: Tx timeout

データの送信時にタイムアウトが発生しました(「#」マークは数字の 1、2 を示します)。

Loopback Check #: Tx is OK, but No interrupt

送信が行われても割り込みが発生しませんでした(「#」マークは数字の 1、2 を示します)。

Loopback Check #: Rx is OK, but No interrupt

受信が行われても割り込みが発生しませんでした(「#」マークは数字の 1、2 を示します)。

A 付録

A.1 製品仕様

1. ハードウェア仕様

信号:

Ethernet Version 2.0 および IEEE802.3 (10BASE5/2-T) に準拠

2. 機械的仕様 (PCI ローカルバス仕様 Rev.2.0 に準拠)

外形: 132.6 x 76.2 x 22mm^{注1}、165 x 107 x 22 mm^{注2}

重量: 約 65g^{注1}、約 200g^{注2}

注1 LA-PCI-T Rev.xH 以後のものにおける数値です。

注2 LA-PCI-2T/5T および LA-PCI-T Rev.xG 以前のものにおける数値です。

3. 電気的仕様

LA-PCI-T:

10BASE-T 使用時: +5V 300mA max

LA-PCI-2T:

10BASE-T 使用時: +5V 300mA max

10BASE2 使用時: +5V 600mA max

LA-PCI-5T:

10BASE-T 使用時: +5V 300mA max

10BASE5 使用時: +5V 300mA max

+12V 500mA max

4. 環境条件

動作保証温度: 0 ~ 40^{注3}

動作湿度: 20 ~ 90% 以下(ただし、結露なきこと)

注3 本製品の周囲温度であり、コンピュータの周囲温度ではありません。

5. 電気雑音の発生防止

VCCI クラス A

6. 使用するハードウェア資源^{注4}

IRQ: IRQ チャネルを 1 つ使用

I/O: 連続した 16 バイトを使用

メモリー: 連続する 64K バイト (最大) を予約領域として占有

注4 これらは、PCI ローカルバス仕様により自動的に設定されます。

A.2 10BASE-T インターフェース

10BASE-T インターフェース (MDI) は、RJ-45 型と呼ばれるモジュラージャックが使用されています。

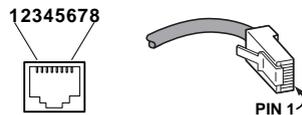


図 A.2.1 RJ-45 モジュラージャック、プラグ

表 A.2.1

ピン番号	信号 (MDIポート)
1	送信データ (+)
2	送信データ (-)
3	受信データ (+)
4	未使用
5	未使用
6	受信データ (-)
7	未使用
8	未使用

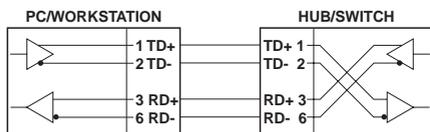


図 A.2.2 UTP ケーブル(ストレートタイプ)

A.3 AUI コネクタ

イーサネットトランシーバー用コネクタの結線を示します。

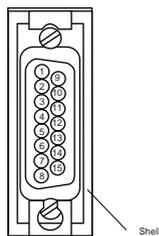


図 A.3.1 AUI コネクタ

- | | |
|-----------------|-------------|
| (1) CI Shield | シールド |
| (2) CI+ | 衝突検出 (+) |
| (3) DO+ | 送信 データ(+) |
| (4) DI Shield | シールド |
| (5) DI+ | 受信データ(+) |
| (6) PWR RTN | 電源リターン |
| (7) Not Used | 未使用 |
| (8) Shield | シールド |
| (9) CI- | 衝突検出(-) |
| (10) DO- | 送信データ(-) |
| (11) DO Shield | シールド |
| (12) DI- | 受信データ(-) |
| (13) PWR+ | 電源供給線(+12V) |
| (14) PWR Shield | シールド |
| (15) Not Used | 未使用 |
- Shell (Protective GND)

A.4 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MACアドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MACアドレスは機器(アダプター)のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の unique、ユニークなアドレスです。

MACアドレスは、下記の 6 バイト(48ビット)によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品のMACアドレスは、製品に貼付されているMACアドレスラベルに記入されています(表記は全て16進数)。

00 00 F4 C0 xx xx
ベンダー ID 通し番号

- ベンダー ID
LANベンダー(LAN用機器を製造しているメーカー)がIEEEに申請することにより得られる識別番号。
- 通し番号
この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、LA-PCIは、C0から始まる6桁の数値となっています。この通し番号と本製品の「シリアル番号ラベル」の番号に関連はありません。



MACアドレス(マックアドレスと読みます)は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。また、MACアドレスは、TCP/IPの環境で使用されるIPアドレスに関係がありますが、これは別べつのものであります。

B 保証

本製品に添付されている「永久保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを受けられません。

C ユーザーサポート

障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依頼書」をプリントアウトしたものに必要事項を記入し、下記にファクスしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。ファクスによって詳細な情報を送付していただく方が、電話による問い合わせよりも速かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細については、「C.1 調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。なお、都合によりご連絡の遅れることもございますので、予めご了承ください。

アライドテレシス株式会社
サポートセンター

Fax: 0120-860-662
年中無休 24 時間受付

Tel: 0120-860-772
月～金(祝・祭日を除く)
10:00-12:00、13:00-17:00

C.1 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

お問い合わせ内容

接続の構成図

簡単で結構ですからご記入をお願いします。

C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法

当社は、改良などのために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライバーソフトウェアは、次の2つの方法で入手することができます。

ホームページからの入手

- (1) Microsoft Internet Explorer、Netscape NavigatorなどのWebブラウザを使用して、アライドテレシスのホームページ「<http://www.allied-teleasis.co.jp>」にアクセスします。
- (2) 「SUPPORT」から「ダウンロード」を選択し、「GO」をクリックしてください。
- (3) 「LAN アダプター」の項目を選択してください。

フロッピーディスクでの入手

当社のカスタマー・マーケティング(Tel. ☎ 0120-860-442、9:00 ~ 17:30 / 月 ~ 金)までお問い合わせください。実費にて最新ドライバーのフロッピーディスクをご提供いたします。



ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1995-98 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM、CentreNETはアライドテレシス株式会社の登録商標です。

Windows、WindowsNT、MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1995年03月	Ver.1.0 Pl.0	初版
1995年03月	Ver.2.0 Pl.0	PC-9800対応
1997年09月17日	Rev.A(Ver.2.0 Pl.1)	リリースノートの情報反映、表1、表4、使用上のご注意、保証とサポートを追加、PN取得
1998年09月29日	Rev.B	全改版

アライドテレシス株式会社

PN J613-M0310-00 Rev.B 980929